

第2学年3組 学級活動(1)指導案

第2学年3組(児童数 27名)
指導者 徳富 謙一

- 1 議題 「『2年生がんばったねの会』の計画を立てよう」
【学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決】

2 児童の実態

本学級の児童は、みんなで一緒に活動する楽しさを感じる活動を経験してきて、友達と協力したり、みんなで活動したりすることが好きになった児童が多い。例えば、係活動のレク係が毎週クラス遊びを計画して、全員参加で楽しんできた。全員で取り組んでいる学級新聞作りでは、編集会議を開き、新聞班のメンバーで、どのような紙面にするか、記事の担当をどうするかなどを話し合い、毎月1部以上作って全校に配達をしている。また、係活動以外にも、自主的に学級をより良くするために、掃除を自主的に行うボランティア掃除を行ったり、自主的に教室の飾りを作って掲示したりしている児童が多く、それらの活動は「とても良いことで、すすんで行いたい」という意欲をもった児童が多い。運動会、音楽会などの学校行事もがんばって成功させてきた経験もある。

学級会では、全員が司会グループを経験している。どの児童も司会グループになることが好きである。理由を付けて自分の意見を言うことのできる児童も多く、話し合いには積極的である。これまでに、「転出する児童のお別れ会」「お楽しみ会」を学級会で話し合って準備し、実施してきた。本議題は「1年間がんばってきた自分たちを振り返り、楽しい会をしたい。」という思いから提案された。単なるお楽しみ会ではなく、この1年間年間で自分たちが成長したこと、がんばったことを振り返りながら、楽しめる会にしていきたい。また、3年生に進級しても、みんなで頑張っていこうという意欲ももてる会を計画できるようにしたい。

3 本時のねらい

頑張ってきた自分たちを振り返り、クラスのみんで楽しめる会にするため、集会の内容を考えることができるようにする。

4 指導計画

議題	『2年生がんばったねの会』の計画を立てよう	
提案理由	1年間がんばってきた自分たちをふりかえり、みんなで楽しい会をひらきたい。	
司会グループ	司会、黒板記録、ノート記録、時計	
話し合いの順序	教師が気を付けること	目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
1.はじめの言葉 2.司会グループの紹介 3.議題の確認 4.提案理由の確認 5.決まっていることの確認 6.話し合うことの確認 7.話し合い 話し合うこと① 「どのような内容にするかを決める」 話し合うこと② 「担当を決める」 8.決まったことの確認 9.振り返り 10.先生の話 11.終わりの言葉	<p>・予め意見を出させ、短冊に記入し、比べ合う段階から話し合うようにする。(5について)</p> <p>・できるだけ児童全員が意見を言えるよう助言する。(7について)</p> <p>・どのような内容にすると、自分たちの1年間の頑張ったことを振り返られる内容になるか話し合うようにする。(7について)</p> <p>・みんなで頑張ったことを思い出して決められたことや、次の活動に向けて頑張りたいことを話す。(9について)</p> <p>・児童の意見のよさを見付け、称賛し、次への意欲をもてるような言葉掛けをする。(10について)</p>	<p>・提案理由に沿って、意見を発表した り、友達の考えを受け止めたりして話し合っている。</p> <p>【思考・判断・表現】〈観察〉</p> <p>・意欲をもって取り組もうとしている。</p> <p>【主体的態度】〈観察・振り返りカード〉</p>

5 指導上の留意点

・事前に司会グループと提案者に議題と提案理由を発表する場を設け、議題への関心を高められるようにする。また、予め意見を出しておくことで「くらべ合う」から話し合いが始められるようにする。